



特集

ホタルの里山に でかけたよ!

観賞するだけでなく、環境づくりから一緒に

ピカー、ピカーと光を放ちながら空中を舞うホタルは、美しい自然環境でしか生きられない繊細な生き物。昔は日本各地で見られたが、自然破壊が進み、生息する場所は限られてしまった。「自然環境のバロメーター」とも言われるホタルを通じて、自然を守ることの大切さを子どもたちに伝えたいものだ。前橋市在住の林さん・高橋さん両親子が、「月夜野ホタルの里」で、ホタルとの触れ合いを楽しんできた。

参加したのは
林瑞喜くん(4歳)と道子ママ、高橋りいこちゃん(4歳)と朋子ママ



ホタルの餌ってなあに?



カワニナという小さな巻貝が餌だよ。この里ではカワニナの養殖もしているよ



カワニナを放流するよ

自然を守るため段際は立ち入り禁止の小川。この日は放流体験のため特別にOKが出たよ

すごい!ホタルの乱舞だ



ホタル観賞にピッタリの時刻は夜8時~9時頃まで。ホタルが光るのは暗闇の中でオスとメスがお話しているんだって

お水がきれいだね!



サワガニだ!



ホタルの絵を描こう!



画の中央に十字型模様があるのがゲンジボタル。背中に太い黒い筋があるのがヘイケボタル。ちゃんと描けるかな



必要なのは
きれいな水と美しい環境

NPO法人「北風塾」主催の「ホタルが生息する環境づくり体験教室」に参加するため、JR上毛高原駅近くにある「月夜野ホタルの里」を訪れた4人。木々に囲まれた山間の里には清涼な小川が流れ、水田が広がる。「トトロの里みたい!」とワクワク顔の子どもたち。ホタルは幼虫時代は水中で過ごし、地中でさなぎとなり、成虫になると光を放ちながら空中を飛び回る。幼虫は美しい水流の中でしか生きられないため、里では住民の有志からなる「月夜野ホタルを守る会」の会員が定期的にゴミ拾いや小川周辺の下草刈りをして、ホタルが住める環境を守り続けているのだ。

この日は、ゲンジボタルの放流からスタート。ホタルの幼虫は水中で生活する約9カ月の間にカワニナを70~100個も食べるそうだ。同会会員の手を借りて小川の水深まで下りて、カワニナを水に沈める。「水が透き通っていて、川底がよく見えるね。ほらサワガニがいるよ」と道子ママ。カワニナもホタル同様、水のきれいな川でしか生きられない生物だ。放流しながら「たくさん食べね」と瑞喜くんはニッコリ。

夜7時30分、いよいよホタル観賞へ…。川沿いの一角に場所を構えてホタルを待つ4人。20分が経過したときに、「あっ!」と目を見張るりいこちゃん。緑色の細長い光が目の前を流れて行く、ホタルだ! その後は次々と光が現れスーッと流れる。まさに乱舞。「すごい、ママ!」と目をまんまるくする瑞喜くん。散策道を歩くと、ため池の近くでヒカヒカ、保護池の近くでもヒカヒカ。「こんなにたくさんホタルを見たのは初めて」と朋子ママも興奮気味だ。「ホタルの里が身近にもっと増えればいいね。そのためには自然を守ることが大切なんだね」と道子ママ。林さん親子、高橋さん親子にとって忘れられない一日になったようだ。



昨年の体験教室も和気あいあい開催

親子で参加しよう！
ホタルが
住みやすい
環境づくり

みなかみ町のNPO法人「北風塾」では、一般の親子を対象にした「ホタルが息を吐く環境づくり体験教室(全3回)」を今年も実施する。ホタルの餌となるカワニナの赤ちゃんを自宅で育て、7月に「月夜野ほたるの里」の小川に放流。ホタル観賞会をしたり、ホタルが住みやすい環境になるよう沢の周りの草刈をしたり、川をきれいにしたり、ホタルを見るだけでなく、ホタルが住む環境づくりにも親子で携われる。

日程(日時は取材日現在未定のため、問合せを)

1日 6月/ホタル教室～水質を調べてみよう

2日 7月/カワニナ放流・クラフト作り・ホタル観賞

3日 10月/草刈作業・郷土料理づくり

- 参加対象/小学生とその家族(定員40名) ※小学生以下の子どもが参加の場合は要相談
- 参加費用 1人3,000円(全3回)・1回ごとの参加は要相談
- 申込み、問合せ/NPO法人北風塾(利根郡みなかみ町上牧2155-1) TEL&FAX.0278-25-3535(10:00~16:00)

安中市

稚氷峠ホタルの里まつり

今年で19回目。見学スポットは、現在休憩中の「跡の湖」に隣接した「稚氷峠の森公園」。足元を照らすライトがあるので子どもも安心だ。



- 住所/安中市船井田町坂本1222
- 開催時期/未定(6月上旬予定)
- ホタルが見られる時期/6月末頃または7月上旬～
- 問合せ/安中市商工観光課(TEL.027-382-1111)

みどり市

小平の里 ほたる親子鑑賞会

環境アドバイザーがホタルの生態について30分ほど話した後、鑑賞会。ベビーカーでの参加もOK。里内の鍾乳洞付近ではホタルの乱舞が見られる。

- 住所/みどり市大同々町小早川445
- 開催時期/6月28日(予定)19:00集合(鍾乳洞公園)。19:30鑑賞会スタート
- ホタルが見られる時期/6月上旬～
- 問合せ/小平の里施設事務所(TEL.0277-73-2006)

みなかみ町

月夜野ホタル観賞の夕べ

会場近くにある月夜野ホタルの里遊歩道ではピーク時の6月下旬、ゲンジボタルとヘイケボタルの同時乱舞が見られる。イベントは例年、カワニナの飼育体験発表会、クラシックコンサート、模擬店などが行われている。

- 住所/利根郡みなかみ町月夜野2936(矢瀧親水公園)
- 開催時期/6月28日(土)予定
- ホタルが見られる時期/例年6月中旬頃～7月中旬頃
- 問合せ/みなかみ町観光協会(TEL.0278-62-0401)

ホタル祭りガイド

実際にホタルを間近で見られるホタル祭りが県内各所で開かれる。マナーを守って出掛けよう!

甘楽町

楽山園「ホタル観賞会」、道の駅甘楽「ホタルのゆうべ」

甘楽町ではほぼ同時期に2カ所でホタル祭りを開催。県内唯一の大名庭園「楽山園」で開催される「ホタル観賞会」の魅力はスケール感、広い庭園はベビーカーでもラクラク。一方、道の駅甘楽での「ホタルのゆうべ」は土曜限定で金魚・ヨーヨーすくいなどができる。徒歩10分間で双方を移動可能。



楽山園

- 住所/甘楽郡甘楽町小幡648-2
- 開催時期/6月上旬(詳細は4月下旬決定予定)
- ホタルが見られる時期/6月上旬～
- 問合せ/甘楽町役場文化財係(TEL.0274-74-3131)

道の駅甘楽

- 住所/甘楽郡甘楽町大字小幡444-1
- 開催時期/未定(4月下旬決定予定)
- ホタルが見られる時期/6月上旬～
- 問合せ/TEL.0274-74-5445



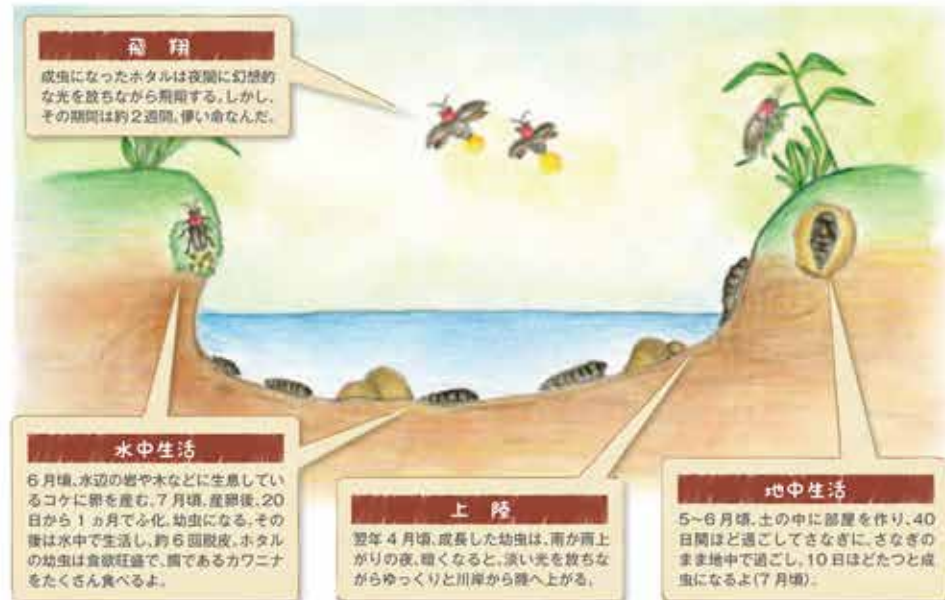
ホタルと友達になるために
知っておきたい豆知識



ホタルは繊細な生き物だから、観賞する際も事前に知識やマナーを頭に入れておくことが大切だ。子どもと一緒にホタルの特性を学んで、もっと身近に、もっと楽しく観賞しよう。ホタルと友達になれたらいいね!

Q ホタルの一生について教えて?

A. ホタルは、チョウやカブトムシと同じで、卵→幼虫→さなぎ→成虫とそれぞれの過程で変身を繰り返す生き物。その変身ぶりを見てみると…



Q ホタル観賞のマナーを教えて?

A. 次の5つのポイントをしっかり覚えて楽しく観賞しよう。

- 1 光に注意!**
ホタルは強い光を嫌うので、観賞スポットに近づいたら懐中電灯は消そう。写真のフラッシュもNGだ。
- 2 音に注意!**
ホタルが好むのは静かな所。話をするときには、声のボリュームを下げて。携帯電話の使用も控えよう。
- 3 虫よけスプレーは×**
ホタルがいるところは、自然が豊か。当然、蚊などもいるけれど、蚊取り線香や虫除けスプレーはつけないで。虫刺され予防には長袖長ズボンで対応しよう。
- 4 ホタルを捕まえない**
ホタルは、地元の人たちの努力で数を増やしてきたところがほとんど。捕まえない、持ち帰らないのはもちろん、手で触ったりするのもNG。離れたところから柔らかく幻想的な光を楽しもう。
- 5 ゴミは持ち帰る**
ホタルが生息するのは、水がきれいな場所。小さなゴミでも必ず持ち帰り、生息地の自然を守ろう。

Q 日本の代表的なホタル「ヘイケボタル」と「ゲンジボタル」の違いを教えて?

A. 1つ目は大きさ。ゲンジボタルの方が大きくて体長が15~20ミリ位。ヘイケボタルは8~12ミリ位。また、ゲンジボタルはピカーピカーと強い光を放って川や溪流沿いを飛翔するのに対し、ヘイケボタルはチカチカと弱い光を放ちながら水田の上を飛ぶのが特徴。観賞できる時期も違って、一般的にゲンジボタルが見られるのは5~7月、ヘイケボタルは6~8月といわれているよ。

